

親子聖書日課

[日]「昼も夜も、川のように涙を流せ・主の御前に出て、水のように、心を注ぎ出せ」とは、魂の救いのために、日夜、神の御前に全身全霊を注ぎ出して祈ることです。滅びを、成す術もなく見てはいけません。祈りこそ、成すべき最善のことです。

[月]3章は22の3倍、66節から成っています。それは、エルサレムへの嘆きが頂点に達し、それが深められていることを表しているのでしょう。実際、ここでは、嘆きだけでなく、主の慈しみ、憐れみ、救いが記され、神への信頼と希望が溢れています。

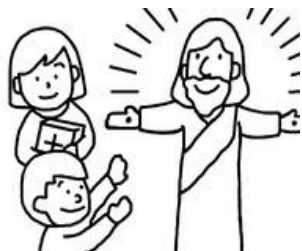
[火]エレミヤはエルサレムを破滅から救う為に、「主が目を留めて下さる時まで」涙して祈りました。この救霊愛を見倣いたいです。主を信じなければ、誰でも破滅の道しかありません。救いの為に、涙して祈る人を、主は今日も求めておられます。

[水]「おとめシオンよ、悪事の赦される時が来る」とは、主によって成就しました。主イエスの十字架によって、私達の罪は完全に赦されました。もう二度と裁かれることはありません。罪の捕囚から解放されたことを喜び、今すぐ主を信じましょう。

[木]人に嘆いても、問題は一つ解決しません。行き詰まった時、「主よ」と祈ることです。どう生きたらよいのか、道が示され、問題が解決します。「私達の日々を新しくして」くださるのは主ですから、主に祈り求め、また祈禱会で祈り合いましょう。

[金]エゼキエル(神が強くする)は、エレミヤと同じ頃活躍した預言者で、バビロン捕囚も経験しました。彼は画家が描くように神の幻を描きました。黙示録のように終末の様相も含んだ大作です。彼の使命は困難でしたが、投げ出さず、神に仕えました。

[土]主は御言葉を「聞く」ようにと言われずに、「食べよ」と命じられました。私達は心を開いて、御言葉の糧を頂くことです。苦いと思われた御言葉が蜜のような甘さであったことを味わうなら、確信をもって御言葉を語ることができるのです。



NO.1912 2025.5/18-24

名前

	聖書	問 題	答 え
日	哀 歌 2:1-22	主の御前に出て、水のようにあなたの心をどうすべきですか。	
月	3:1-30	主の慈しみは決してどうしませんか。	
火	3:31-66	私の目は休むことなく、何を流し続けますか。	
水	4:1-22	乙女シオンよ、悪事のどうされる時がきますか	
木	5:1-22	主よ、御もとにどうしてくださいと、祈るべきですか。	
金	エゼキエル 1:1-28	主の言葉と主の御手が誰に臨みましたか。	
土	2:1-3:15	口を開いて、私が与えるものをどうすべきですか	
感想と祈りの課題			